

令和6年度第1回 学校運営協議会 議事録

校名	府立思斉支援学校
校長名	井上 昌二

開催日時	令和6年5月30日(木) 10:00~11:00
開催場所	府立思斉支援学校 3階 学習室
出席者(委員)	赤坂委員(今市中学校長)、栗山委員(太子橋小学校長)、三木委員(旭区障がい者基幹相談支援センター管理者)、山中委員(豊里学園長)、石山委員(大宮連合振興町会大宮第16町会長) 中委員(PTA役員)
出席者(学校)	井上校長、上野事務長、紙野教頭、掛田教頭、村上首席、大場首席、酒井友行首席、酒井康次首席兼部主事、水江部主事
傍聴者	0名
協議資料	令和6年度学校経営計画 令和5年度進路状況表 令和6年度使用教科用図書(選択・採択)一覧表

議題等(次第順)
<ol style="list-style-type: none"> 1、校長あいさつ 2、令和6年度 委員紹介 3、令和6年度 事務局紹介 4、会長・副会長の選出 5、令和6年度学校経営計画について 6、令和5年度進路状況について 7、令和6年度教科書について 8、その他
協議内容・承認事項等(意見の概要)
<p>4、事務局より会長に太子橋小学校長栗山氏、副会長に今市中学校長赤坂氏を推薦。全員一致で承認される。</p> <p>5、令和6年度学校経営計画について 今年度の重点目標と具体的な取り組み内容についての説明(井上校長)</p> <p>◆安心安全な学校生活を送る体制をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメント・体罰・不適切な指導の防止などの教職員研修を実施する。 ・令和5年改訂したセキュリティポリシー実施手順を遵守し、情報(特に個人情報)の管理を行う。 ・不審者対応を想定した防犯研修を実施する。 ・大規模災害、緊急時を想定し保護者引き渡し訓練を実施する。 ・大規模災害時初期対応マニュアルを活用し、地域と協働して防災訓練を実施する。 ・教員の教育相談対応力を向上させる。 ・全教員がタブレット端末を活用し、業務改革・業務削減を図る。

◆特別支援教育のセンター的機能を発揮し開かれた学校づくりを推進する。

- ・各学部で学校間交流を実施する。
- ・小中学部の希望者に居住地校交流を実施する。
- ・ホームページ、ブログの編集権限をさらに広げ、内容の充実を図る。

◆障がいの多様化に応じた教育活動の展開ができるよう教職員の資質向上を図る。

- ・他学部や他の教員の授業を参観し、研究協議を充実させる。
- ・教員が清掃研修を受け、校内での職業教育の指導に活かす。
- ・教員がタブレット端末を活用できる環境を整備し、指導事例を共有する。

◆小学部中学部高等部の継続性のある系統的なキャリア教育を実践する。

- ・学びの連続性の構築に向けて、学部間の交流学习を実施する。
- ・中学部高等部生徒を対象に外部講師（企業担当者等）による進路学習会を実施する。
- ・地域と連携し、児童生徒の自己肯定感を高める取り組みを実施する。

○質問及び意見等

赤坂委員)

- ・作品展等で学校間の交流をしている。他にもできる場面があればお願いしたい。

栗山委員)

- ・学校間の交流は、自然に触れ合う交流ができ、本校児童の情操を育成するうえで大変有意義だった今年度も引き続きお願いしたい。
- ・ICT活用について、大阪市の小中学校でも推進している。毎日8割の児童がタブレットに触れる機会をつくるという新たな目標が設定されている。支援学校のICT機器の使い方はどのようにしているか。

酒井康次)

- ・個々にあった学習アプリを用いての学習や視覚的な支援のために活用している。

栗山委員)

- ・支援学校のアレルギー対応について詳細を聞き、参考にしたい。

村上)

- ・担任、栄養教諭、養護教諭が児童生徒情報（アレルギー確認用紙等）を共有。毎朝、職員朝礼で品目と対応について具体的に確認している。給食室での配給の時点からお盆の色を変えて名札を貼って誤食がないようにしている。

井上校長)

- ・献立表についてはダブルチェック・トリプルチェックで保護者・学校で確認している。

三木委員)

- ・経営計画に福祉との連携を挙げ、合同研修などを実施し連携強化を図りたい。
- ・防災について明確な記載が必要ではないか。発災時の避難場所について保護者の心配の声が多い。

酒井友行)

- ・文言としては中期的目標3 - (4) 外部機関との連携に含んでいる。本校でも昨年より、強化チームを立ち上げ、福祉との連携に力を入れている。合同研修等、先々は考えていきたい。
- ・防災については、災害時避難所の運営を課題として、主に地域・区役所と連携して取り組んでいる。発災時児童生徒が、本校で一時避難する対応は確認できているが、その後あるいは地域で福

社避難所を利用する想定には至っていないのが現状である。

紙野教頭)

- ・12月に本校児童生徒、近隣の学校園、地域住民と合同の避難訓練を計画中である。

山中委員)

- ・今年度はHPがまめに更新されている。子どもたちの様子がわかって良い。プリント類も掲載しているのでわかりやすい。より充実させてほしい。
- ・当園の児童生徒の理解のためにも新しい先生方に向けて、特に愛着障がいについて専門性を高めてほしい。

大場)

- ・今年度の夏季公開講座で愛着障がいについて研修をする予定である。

紙野教頭)

- ・和歌山大学の教授にオンラインで講義していただく予定で、学園の職員も一緒に受講できれば良いと考えている。

山中委員)

- ・ぜひ参加したい。

石山委員)

- ・4-(2) 地域社会で豊かに生きていく力をはぐくむため、学校は具体的にどうしていくのか。

紙野教頭)

- ・地域の方々に、児童生徒のことを知ってもらうことが重要と考えており、防災訓練のねらいの一つにも組み込んでいる。町会の方々と一緒に取り組むことで、児童生徒への理解が進めばと考えている。自転車整備も自己肯定感を高め、生きていく力をはぐくむ取り組みの一つと考えている。

中委員)

- ・今年度から委員となり会議に初めて参加し、様々な計画を立て、よい取り組みをしていることを知ることができた。ただ保護者には伝わっていないこともあり、情報公開について工夫していただければと思う。
- ・PTA業務はアナログで行っていることが多く、今後は、学校と協力してICTを取り入れたいと考えている。
- ・PTAでも地域連携の企画を考えたい。今年度でまとまるかは分からないが、次年度に向けて検討していく。

以上を説明し、計画は承認される。

6、令和5年度進路状況について

令和5年度大阪府立思斉支援学校高等部進路状況表に沿って説明（酒井友行）

○質問及び意見等

三木委員)

- ・進路未定者が6名いるが、基幹相談支援センターを紹介してもらえれば協力できることもあるので活用してほしい。
- ・しおん大阪は、就労継続支援A型を閉所した。情報として伝える。

7、令和6年度使用教科書について

令和6年度使用教科書について資料に沿って説明（大場）

8、その他

意見書の提出がなかったことの報告（掛田教頭）

I C T教育展示会（エディクス東京）について報告（紙野教頭）

○質問及び意見等

栗山委員）

- ・ I C T機器は、なんでも良いから触るという時期は終わった。授業のねらい、目標を達成させるための使い方をしていかないといけない。有効的な使い方を考えていく必要がある。

村上）

- ・ 日常で使えることが大切だと考えている。

次回の会議日程

日時	令和6年11月下旬
会場	思斉支援学校 学習室